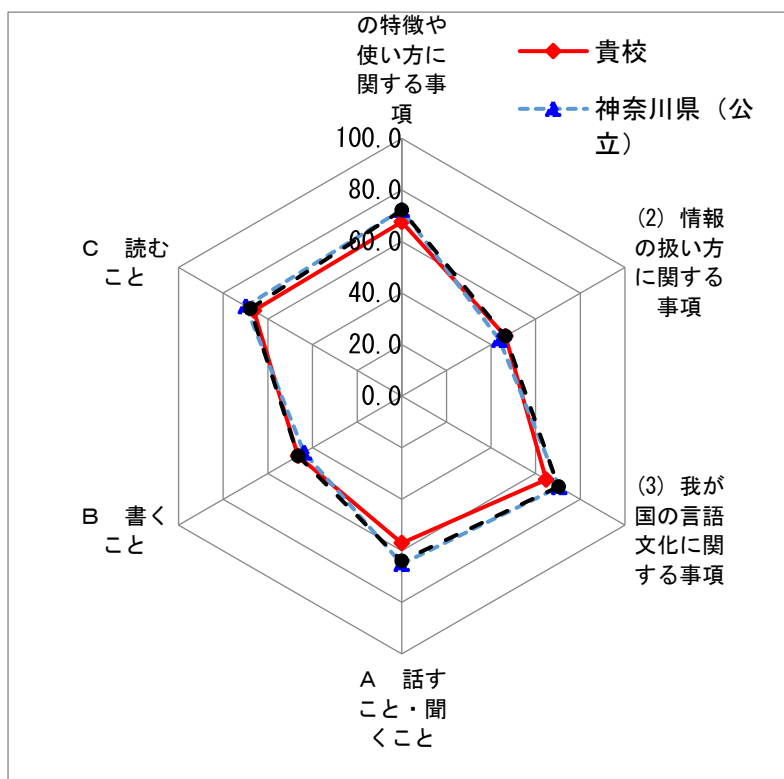


令和4年度 全国学力・学習状況調査の分析結果

【国語】

<学習指導要領の内容の平均正答率の状況>



【知識及び技能】

全国の平均正答率と比較して、本校の生徒は、(2)の情報の扱い方に関する事項の正答率は同じであるが、(1)の言葉の特徴や使い方に関する事項、(3)の我が国の言語文化に関する事項はやや低くなっています。

【思考力、判断力、表現力等】

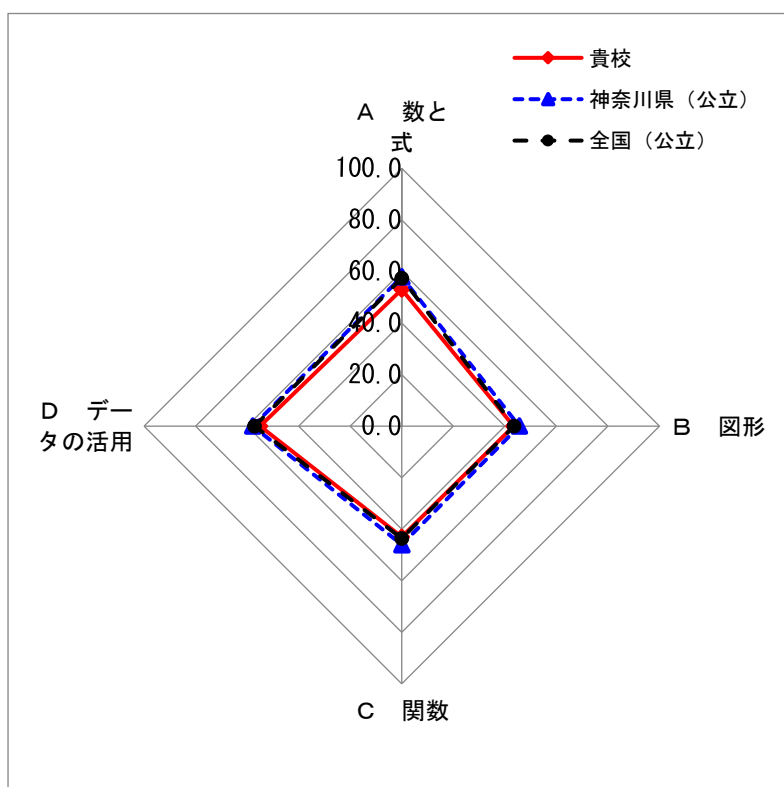
全国の平均正答率と比較して、Bの書くことについては同じであるが、Aの話すこと・聞くこと、Cの読むことはやや低くなっています。

（考察）

論理の展開などに注意して聞くことや自分の考えを分かりやすく伝えるように工夫して表現したり話したりすること、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて描写を基に捉えることに課題があります。

【数学】

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



【知識及び技能】【思考力、判断力、表現力等】

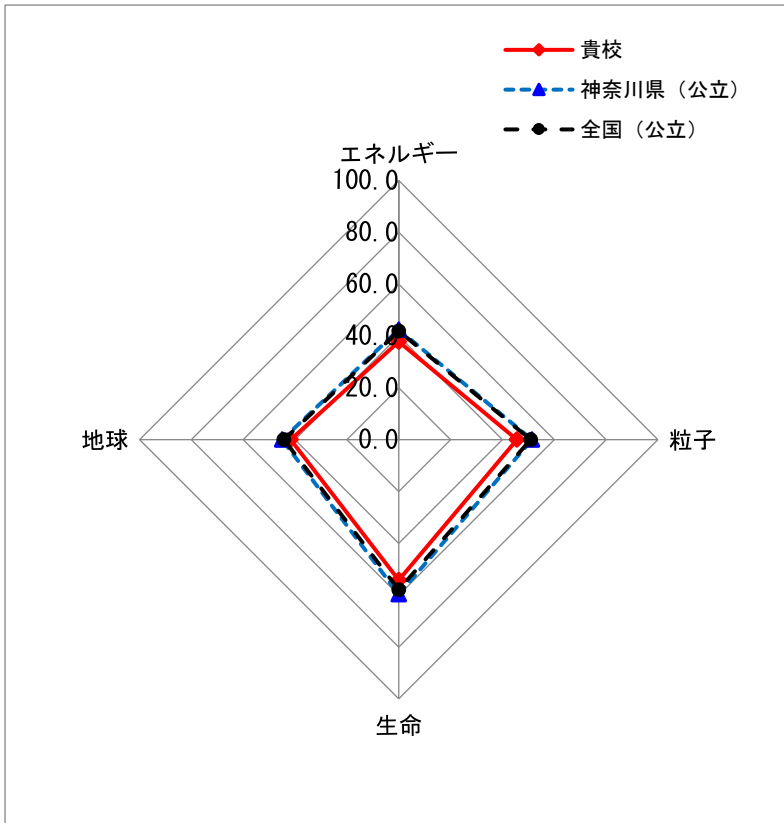
全国の平均正答率と比較して、いずれの観点についてもやや低い傾向が見られます。Bの図形やCの関数についてはほぼ同じであるが、Aの数と式、Dのデータの活用についてはやや低くなっています。

（考察）

問題解決の方法を数学的に説明することや証明の根拠として用いられている三角形の合同条件はよく理解しているが、自然数を素数の積で表すこと、多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味の理解、目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして事柄が成り立つ理由を説明することに課題があります。

【理科】

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



【知識及び技能】【思考力、判断力、表現力等】

全国の平均正答率と比較して、いずれの観点についてもやや低い傾向が見られます。また、4つの領域（エネルギー・粒子・生命・地球）とも、やや低くなっています。

（考察）

静電気や天気図・気圧に関する問題、節足動物の体のつくりと働きを分析して解釈できるかどうかの問題、実験の結果を基に課題に正対した考察を記述する問題は上回っています。しかし、おもりに働く重力とつり合う力の矢印を選択し、その力について説明する問題や生物Xが昆虫類かどうかをアリと比較しながら観点と基準を明確にして判断する問題に課題が見られます。

【全体を通して】

- ・全教科において基礎的な知識及び技能の習得を図るとともに、引き続き知識及び技能を活用して課題を解決する授業を展開していく。
- ・学び合う時間を設け、自分の考えを説明したり、筋道を立てて話したりすることができるようにする。
- ・実生活や実社会につながる学習課題を取り入れ、既習内容を活用して解決できるようにしていく。
- ・個別学習支援や学習会によるサポート体制を充実させていく。